



## 第三課

何のための料理番組



# 単語

狩る

営み → 経営・商売・商う

居酒屋 → 料亭・レストラン（ファミレス）

風景 → 眺め

みずから：自分から積極的に行うさま。自分自身で。「一志願する」 → おのずから：① 物事の成り行きや自然の道理に従って自然にそうなるさま。自然に。「読書百遍義一見（あらわ）る」②（自然の赴く所として）長い間にはたまに。③ いつの間にか。知らず知らずのうちに。「一数年を経ぬ」

学食（学生食堂）

ずらっと＋～



# 単語

たっぷり：① 満ちあふれるほど十分なさま。たくさん。「鍋に―（と）水を注ぐ」② まだゆとりのあるさま。十分すぎるさま。「―（と）したドレス」③ その数量は十分にあるさま。「―一時間はかかる」 → どっぷり：① 墨汁や水などを十分含ませるさま。「筆に―（と）墨をつける」② 風呂などにすっかりつかるさま。「首まで―（と）つかる」③ 比喩的に、ある環境にすっかりはまって安住しているさま。「古い慣習に―（と）つかっている」

## 献立

すでに：① ある動作が早くも終わっている意を表す。以前に。もう。「会は―終わった」② 早くもそういう状態になっている意を表す。「―春である」③ 明らかにそうであると述べる意を表す。「その事実が―組織の腐敗を物語っている」④ 動作や状態が確定し、確かにそうなっていることを



# 単語

表す。すっかり。全く。「天の下―覆ひて降る雪の光を見れば」 → もはや：① 今となって

は。もう。「―手遅れだ」「―これまで」② 早くも。すでに。「あれから―五年もたった」

さばく：砂漠・捌く・裁く

雲泥の差

時間を割く



# 文型

## 1. ～に限る・～に限らず・～に限って (N2)

意味：① 時間・空間・数量などの範囲を定める。事物の限界を設ける。限定する。

例：「同伴は一名に―・る」

② 特にそれだけを，とりたてる。 例：「最終日に―・り三割引き」

③ （「...は...に限る」の形で）それを最もよいとする。 例：「花は桜に―・る」

## 2. と（も）なると

意味：①（接続助詞的に）成り行き・条件をとりあげてその結果を示す。...ということになると。

例：「解散―，総選挙だ」

②（接続詞的に用いて）そういうことになると。



# 文型

例：「一週間で仕上げるのか、一もっと人手がいる」

## 3.～かける

意味：① 相手に向かって物事をする。 例：「話しー・ける」「働きー・ける」

② ...し始める。途中まで...する。 例：「言いー・けてやめる」「長編を読みー・ける」

③ もう少しで、ある動作を始めそうになる。もう少しでそういう状態になる。

例：「死にー・ける」「川でおぼれー・ける」

## 4.ずには～いられない・いけない・できない

例：食事が終わると、煙草を吸わずにはいられなくなる。



# 精読

- 1.なぜ火がしばしば文明の象徴とされるのか。
- 2.「確かな事実」とは何か。
- 3.テレビで放映されている多くの料理番組やグルメ番組はどう言った感じのものか。
- 4.作者はなぜ身体はもはや自分のものではないというのか。
- 5.私たちは、調理の過程で何を学んだのか。
- 6.「そういう体験の場所がじわりじわり消えかけている。見えない場所に隠されつつある」という文は、どう理解すれば良いのか。
- 7.「外部化」と「内部化」は文章の内容によれば、具体的に何を指しているのか。